新東名高速道路建設に伴う発掘成果

西富岡・向畑遺跡

主催　（公財）かながわ考古学財団

共催　伊勢原市教育委員会

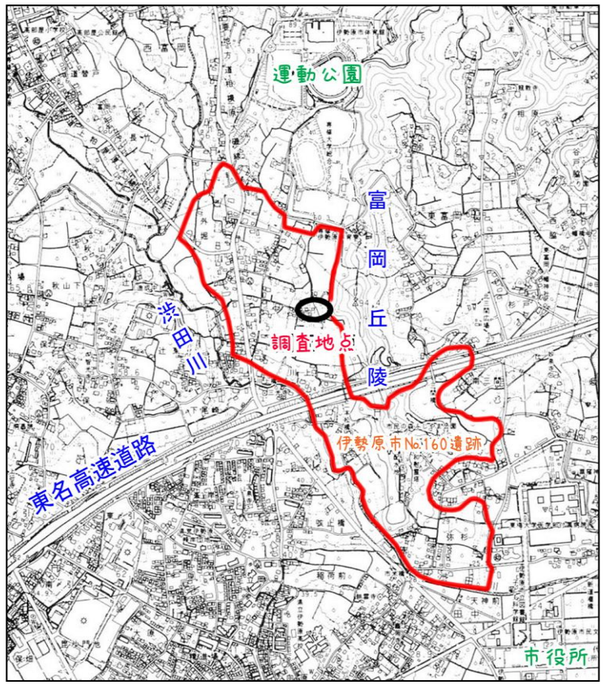
縄文時代の水場遺構を発掘

西富岡・向畑遺跡の発掘調査

伊勢原市西富岡に所在する西富岡・向畑遺跡は、中日本高速道路株式会社が計画する新東名高速道路建設に伴う事前調査として、2007 年４月から発掘調査を実施しています。

西富岡・向畑遺跡では、これまでの調査によって、中世の建物跡、古墳時代末から平安時代にかけての集落跡、縄文時代中期から後期にかけての台地上の集落跡、谷部からはクルミやトチの実などの堅果類が多数出土した水場遺構などが発見されており、たくさんの遺物が出土しています。今回は、縄文時代の遺構・遺物を中心にこれまでの発掘調査の成果の一部を紹介します。

上の写真は、１区の水場遺構を北側（川上）から見た写真です。土坑から続く流路の途中には礫が積まれています。川道の両側からは杭が見つかっており、この部分に川の流れを堰き止める施設があったと見られます。



遺跡の位置

これまでの主な発見遺構数

――発見遺構――

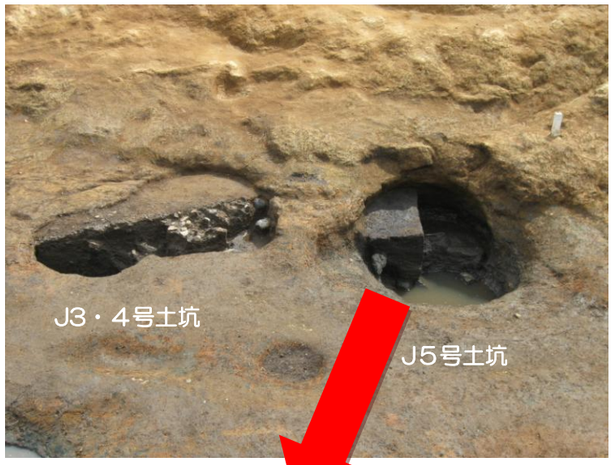
中・近世：竪穴建物 19 基、掘立柱建物３棟、地下式坑9基、地下室1基、井戸5基、炭焼窯1基、土坑 309 基、溝 62 条、集石7基、柵列2列、 など

古代（奈良・平安時代）：竪穴住居 187 基、竪穴状遺構 10 基、掘立柱建物 64 棟、土坑 433 基、溝 19 条、道 10 条、杭列4条、など

縄文時代：敷石住居 60 基、掘立柱建物1棟、配石 18 基、集石 59 基、埋甕45 基、焼土址8基、帯状粘土列、水場遺構（土坑 17 基、木組み2基、埋設土器1基、杭列5条など） など

旧石器時代：礫群4箇所

Ｊ13 号土坑出土漆塗り土器



１区の水場遺構の写真です。水場遺構からは、前回までの調査で土坑・杭列・木組などが見つかっています。今回の調査ではＪ１号土坑から下流へと続く流路と礫を積んだ堰、Ｊ３から５号土坑が見つかりました。Ｊ３・４号土坑は、連続する２つの土坑で、Ｊ３号土坑とＪ４号土坑の間に大きな礫と木片がまとまって見つかりました。

土坑の中からは、前回までの調査と同様クルミやトチなどの堅果類、加工した木材や石器、礫などが見つかっています。Ｊ５号土坑の底部付近からは、柱材や礫とともに細い木片などが密集して出土してします。このような出土状況は、ほかの土坑でも見られます。

１区東調査風景

新東名高速道路建設に伴う発掘成果

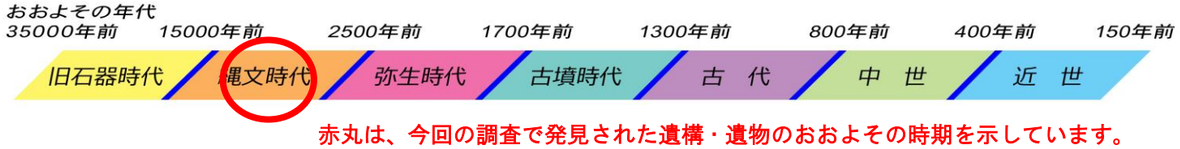
西富岡・向畑遺跡(伊勢原市No.１６０遺跡)

2011 年 12 月 10 日

公益財団法人 かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1

TEL 045-252-8689　http://www.kaf.or.jp/



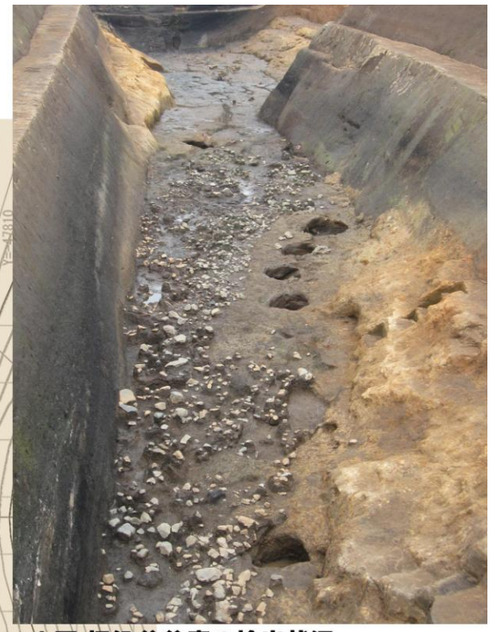
赤丸は、今回の調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期を示しています。

西富岡・向畑遺跡 水場周辺の主な縄文時代遺構配置

14区 中期（曽利式）の竪穴住居址

14区 耳栓（じせん：耳飾り）

1区 J6号土坑 網代出土状況


1区 埋没谷谷底の検出状況

14区 中期（加曽利E式）の敷石住居址

1区東 後期の敷石住居址

1区 J13号土坑 漆塗り土器

14区 中期（曽利式）の埋甕

14区 陥し穴（おとしあな）

1区 木組み遺構

10区西 中期（勝坂式）の竪穴住居址

10区西 中期（勝坂式）竪穴住居址出土遺物

4区 後期の帯状粘土列

6区 立って出土した石棒

5区 後期（堀之内式）の敷石住居址